

# 支部協だより

第133号

発行所  
 NTT労組退職者の会  
 沖縄県支部協議会  
 沖縄県浦添市城間4-35-2  
 TEL.098-870-7101  
 FAX.098-875-7450  
 責任者  
 瀬良垣 武安

老後の暮らしに安心と  
 子供たち孫たちに  
 平和な未来を



申

会員の皆様 ご家族の皆様  
 謹んで新年のご挨拶を  
 申し上げます

会長 瀬良垣 武安



ととなり、沖縄の尊厳と誇りを回復することが出来るかどうか問われる選挙でありました。

仲井真前知事の辺野古移設工事埋め立てを承認した行為に、沖縄の尊厳と誇りを傷つけられたと感じた県民は、大勢かけた尊厳を県民が自らの意

一昨年十一月に行なわれ、さらには十二月に行なわれました衆議院議員選挙でオール沖縄の強固な民意でもって各選挙を勝利することが出来たことを、また記憶に新しいことと思えます。これまでの県知事選挙・衆議院議員選挙とは、選挙の位置付けが大きく違っていたことでもあります。

辺野古新基地建設反対阻止が建設推進か、県民の信を問う重要な選挙でありました。基地の強権的な押し付けを認めることは、県民自らその尊厳を否定することに等しいこ



瀬良垣会長と役員の方々。今年もがんばります！

思で取り戻した選択は、歴史的にも大きな意義を持つことになりました。

安倍暴走政権と共に辺野古移設を容認し、埋め立てを承認した前知事に約一〇万票の大差は、県民が沖縄のことは県民自ら決めるとの自己決定権を行使して、辺野古移設反対を安倍暴走政権に突き付けたことを意味します。自公反動政権は一〇万票の大差で負けたにもかかわらず、辺野古移設工事を粛々と進めると明言しており、民主主義国家として許されることではありません。そもそも、安倍政権は仲井真前知事から辺野古の埋め立て承認を得たことで、地元沖縄の了解が得られたと受け止めて辺野古新基地建設を強行しておりますが、それは大きな間違いであります。

何故なら、仲井真前知事は前回の県知事選挙で「県外移設」を公約に訴えて当選。辺野古移設推進の埋め立て承認は県民を裏切った行為であり、前知事を県民が支持した訳ではありません。つまり地元は沖縄県民の大半以上は了解な

どしていないのです。

また県知事選挙後に施行された衆議院議員選挙区選挙でも、県知事選挙で発揮したオール沖縄の良識で沖縄選挙区の一区、四区全ての選挙区で辺野古新基地建設阻止を公約にかかげた、うまんの会、推薦の全候補者が見事当選をしました。

自民党公認の四名全員が選挙区で落選、安倍自民党へ一定の打撃を与え、沖縄県民の辺野古移設阻止の民意が示されたにも拘らず、自公政権は一顧だにせず民意を無視し変わらぬ辺野古移設建設を進め

ていくと強調言明し、全く沖縄県民を愚ろうしています。

そこで昨年一〇月十三日に翁長県知事が重大な決意で、仲井真前知事による辺野古移設建設の埋め立て承認を取り消す決断を表明。安倍自公政権は違法な手続方法で辺野古新基地建設工事推進のため沖縄県知事を提訴し、司法の場で議論が展開されております。

このような沖縄県の情勢の中で新年早々に実施される重要な宜野湾市長選挙は、安倍暴走政権と一緒に辺野古移設建設を推進する候補者を打倒し、オール沖縄推薦の

## 組織内「石橋みちひろ」の再選と 県内選挙の完全勝利を目指そう！



NTT労組九州総支部沖縄分会  
 分会長 砂川 安弘

退職者の会会員の皆様、そしてご家族の皆様、あけましておめでとございます。申年の新年、どう迎えたでしょうか？

昨年は戦後70年目の節目の年でした。70年前の大戦で尊厳を失った方々のご冥福をお祈りするとともに、恒久平和を改めて確認する節目の年でありましたが、集団的自衛権行使に向けた安保法制が自公政権の数の横暴により強行採決をされてしまいました。

同時に、辺野古新基地建設に対しては、全国の海上保安庁に加え、警視庁機動隊を動員し暴力により反対する県民を抑えつけています。さらに、昨年12月には、埋め立て承認を取り消した翁長知事・沖縄県に対し取り消しを無効とする代執行裁判もおこし、政権に歯向かうものには容赦のない弾圧を加えています。

国全体が右傾化する状況のなか、年明け早々に宜野湾市長選挙が行われます。情報労連・NTT労組は、「普天間基地の早期閉鎖・返還」と「辺野古新基地を絶対造らせない」と

「シムラ恵一郎」市長候補の勝利を勝ち取り、続く夏の参議院議員選挙区「イ八洋」候補、「石橋みちひろ」組織内の候補の勝利も勝ち取り、老後の暮らしの安心と子供たち孫たちに平和な未来を築き上げるため希望の持てる新年にするため退職者の会員、ご家族、知人、友人に呼びかけ、支持拡大に向けて「現・退一致」で目標達成実現のため頑張ってくださいませよう。

今年も会員の皆様、ご家族の皆様にとりましてご健康で最良の新年でありますようご祈念申し上げます。

する「シムラ恵一郎」氏を支持、支援を決定し知名度アップに向けた取り組みを展開中。さらにNTT労組の最優先・最重要課題として位置づけて取り組んでいる組織内「石橋みちひろ」の再選、6月の県議会議員選挙・参議院沖縄選挙区への取り組みなど、負けられない闘いの連続となります。

右傾化する日本の状況に歯止めをかけ、子供や孫たちが安心して生活ができる世の中を作っていくのも、退職者の会会員皆様の大きな役割です。引き続き、現職と先輩方が一体となった活動を取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

退職者の会会員の皆様とご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



ただ今現役

メンバーが百人

株式会社 コールアップジャパン

代表取締役 仲里 正幸 (71歳)

生き生き通信

遂に古希ですね。よくぞ、ここまでできたか……という感じ

日頃、妻と二人、朝六時から八時頃まで自宅続きの畑でハルサーをします。たまには二人してウォーキング、その後に弊社に向かう日課です。

例えば二十二年前、周囲の反対もありましたが、NTTを退職し、五十代で起業して今日に至っています。

起業スタート時は五名のメ



ドコモ南風原店舗前の仲里さん

報告

2015年拡大支部協  
代表者会議模様!

事務局長 安里 優

2015年拡大支部協代表者会議が12月2日14時〜12月3日11時まで、東京都のホテルベルクラシックにおいて開催されました。

1日目は、司会による開会あいさつの後、石原中央協議会会長の挨拶、続いて野田NTT労組中央本部執行委員長のあいさつ、福祉事業体(電

通共済生協藤井常務・労連共済本部太田事業部長・きらら保険サービスマル代表取締役副社長・ライフアシスト水野常務取締役)のあいさつがありました。

その後、10分間の休憩を挟み各種提案・報告(1)2015年度活動方針の具体化について、(2)その他(1)NTT労組新聞退職者版の住所変更、停止依頼への対応及び

戻り処理について、(2)組織要覧の校正依頼について、(3)ありがとうの会計監査報告、について川辺事務局長から提案説明・報告がありました。

野田NTT労組中央本部執行委員長のあいさつの中でN

TT労組の現状報告がありました。①NTT労組の組織人員はピーク時(全電通)には29万人いたが、現在は16万9千人まで減少していること

(うち4万人は有期雇用者とのこと)、さらに60歳以上の社員が2万人弱もいることと。若手社員のほとんどは都市部に集中しており地方には少ないとのこと。

組合費についてもピーク時には(中央本部費・地方本部費・支部費・分会費)となっていたが、現在は中央本部費のみとなっていること、財政的にも厳しくなっている

とのことでした。以上のことから2016年7月に実施される参議院議員選挙の組織内候補「石橋みちひろ」の再選が厳しい状況

(①民主党の比例代表候補者が12名であること、②日本労働組合総連合におけるNTT労組の組織人員が10番目になっ

ていること)になっており、



組織の総力を上げて選挙戦を戦い抜く決意が表明されました。

(1)2015年度活動方針の具体化については、①「東日本大震災」からの復興・再生とシンボルフレーズである「安心・信頼・生きがいあ

ふれる21世紀・みんなと共に」の展開、②組織体制の充実と支部協との更なる連携強化(「石橋みちひろ」候補の必勝

と福祉活動の推進に向け、5月24日(火)〜25日(水)に拡大支部協代表者会議を開催

する。③会と会員とのコミュニケーションの強化(広がりネットに会員が参加できるコーナーの工夫、中央協にホームページを開設する)、④全国

交流会を5月11日(水)〜13日(金)の日程で開催する、⑤会員拡大の取り組みを現・退一致で取り組む、⑥「石橋みちひろ」候補の再選を至上

命題に現役と連携しつつ取り組む、⑦永年役員表彰・機関紙コンクール表彰、⑧福祉活動を各事業体と連携を深め積極的に取り組む(電気通信

共済会の社員選挙は12月11日までに投函・15日必着、12月17日(18日開票)、⑨退職者連合を中心とした共闘活動、⑩支部協交付金の見直し(各支部協定額30万円を維持、会員1人あたりの交付単金を180円に見直し、組織強化費5万円、役員強化費の会員1人あたり30円を継続すること)が川辺事務局長から提案説明・報告がなされました。

その後質疑・討論がなされ満場一致で承認されました。

1日目終了後、夕食懇親会の席で、新任の会長・事務局長の自己紹介と決意表明がありました。

2日目は、①参議院議員選挙の取り組みについて川辺事務局長から提案説明、②参議院議員選挙と公職選挙法について、NTT弁護士団・横路弁護士から説明を受けました。

質疑・討論の中で、安倍内閣の無法ぶりを示す事例として辺野古問題を取り上げていただいた愛媛支部協の尾崎会長には頭の下がる思いでした。

「会員の訃報について」謹んでご報告し、故人の冥福をお祈りします。

比嘉 勇孝 満63歳 (2015.11.14) 沖縄市在